

# 美祢市台北観光・交流事務所だより⑩

8月18日㈮～22日㈫の5日間、台湾において「美祢市ふるさと人財育成事業」市民海外研修を実施しましたので、まずは今回は、その研修（前半）の様子について、紹介します。

この研修は、市内中学生・高校生を台湾に派遣し、現地学校での交流及び観光地の視察を通して、外国の文化と社会に対する認識を深めるとともに、コミュニケーション能力を育て、国際理解の視野をもつ人材の育成を図ることを目的とし実施されています。

今年は、台湾中部にある南投県立水里国民中学と姉妹校協定を結んでいる於福中学校の杉校長を団長とし、市内中学生8人と高校生2人の計10人が研修生として参加しました。

また、現地サポートメンバーとして、企画政策課職員1人、台北観光・交流事務所職員2人に加え、今年は新たに山口大学国際総合科学部に在籍していた台湾人留学生2人にも同行していただきました。

研修生全員が初めての海外研修であり、期待と不安が入り混じる中、全員元気に出発し、研修初日は、台北市内にある美祢市台北観光・交流事務所と台湾のランドマークである台北101を視察しました。

## 【美祢市台北観光・交流事務所】

台北市の台北世界貿易センター展示ビル5階にある事務所を視察し、現地で行っている業務内容などを紹介しました。

また、当日は同ビル1階の展示フロアにおいて、様々な業種の展示会が開催されており、その様子も視察することができました。

## 【台北101】

高さ508mを誇る台北101は、台湾一の高層ビルで、89階にある展望台（高さ382m）までは、5階の入口から分速1,010m（当時世界最速）のエレベーターで昇り、所要時間はわずか37秒です。

このビルの建設には、日本の企業が携わっており、またこのエレベーターも日本製であり、随所に日本の技術が活かされていることを知りました。



また、当日は天候も良かったため、91階にある屋外展望台（高さ390m）にも行くことができ、360°のパノラマから眺める景色は圧巻でした。

研修2日目は、今回の最大の目的である南投県立水里国民中学との交流事業を行うため、台北駅から台湾高速鉄路（台湾新幹線）に乗り、台中駅まで移動しました。ちなみにこの台湾新幹線も日本製で車両の一部は日立製作所笠戸事業所（下松市）で製造されています。

一行は、その台中駅からバスで約1時間半かけ、南投県立水里国民中学に向かいました。

## 【水里国民中学交流歓迎会】

水里国民中学に到着すると、多くの生徒や学校関係者の皆さんにあたたかく出迎えいただき、体育館で開催された歓迎会では、お互いに英語を使い自己紹介や地域・学校等の紹介を行い、一緒にエアロビクスやゲームを行い交流しました。

また、サプライズで水里国民中学の生徒が、手作りの団扇にその場でそれぞれの名前を習字で書いてくれ、プレゼントしてくれました。



## 【水里蛇窯】

昼食後、会場を水里蛇窯に移動し、施設内の視察と陶芸体験を行いました。

水里蛇窯は、1926年、日本の統治時代に建てられた日本の登り窯に似た台湾最古の蛇窯で、中国から伝えられました。現在も実際に使用され、陶器の製作が行われています。

陶芸体験では、それぞれの生徒が製作した陶器にお互いの名前を入れ合うなど、かなり打ち解けた様子でした。

なお、今回研修生が製作した陶器は、現地で焼き上げた後に美祢市に送られてくるとのことですので、到着がとても楽しみです。



水里蛇窯

## 【歓迎夕食会・ホームステイ】

歓迎夕食会は、水里国民中学 PTAの方が経営する民宿の中庭で開催され、地元特産品を使った料理などでおもてなしeidt;いただきました。

この歓迎夕食会には、学校関係者だけでなく地元の皆さんもいろいろな差し入れを持参して参加され、台湾のおもてなし文化を体感でき、研修生も水里国民中学の生徒たちと身振り手振りを交え、積極的にコミュニケーションを取るなど、とても和やかな会となりました。

その後、研修生は、この民宿に水里国民中学の生徒たちと一緒に宿泊し、交流を深めました。

交流事業最終日の研修3日目は、台湾中部を代表する景勝地「日月潭」(にちげつたん)に移動し、カヌー体験等を行いました。

## 【カヌー体験・お別れ】

水里郷側のご配慮により、通常一般開放されていない日月潭内のカヌー練習場で特別にカヌー体験を行うことができました。

カヌー1艇に、研修生と水里国民中学の生徒が1人ずつ乗船し、体験がスタートしました。

交流2日目ということもあり、とても和気あいあいにお互い協力しながらカヌーを漕いでいました。

終盤はオールでの水の掛け合いが始まり、岸に上がるころには、みんなずぶ濡れになっていました。

その後、クルーズ船「總統1号」が到着し、昼食会場まで日月潭内のクルージングを体験しました。このクルーズ船は、その名のとおり以前台湾の總統（大統領）が使用されていたもので、いろいろな場面で特別なおもてなしを受け、みんな感動していました。

昼食会場では、水里国民中学の生徒たちとの最後の食事ということもあります、お互い会話も弾み、記念写真を撮ったり、食後も近くのお店で一緒に買い物をするなど、別れを惜しむ姿も見受けられました。

水里国民中学の皆さんは、バス駐車場まで見送りに来られ、最後の最後までもてなしeidt;いただき、研修生もいろいろと感じることの多い有意義な交流事業になったのではと感じています。

来年は、水里国民中学の生徒を美祢市に受け入れる予定ですので、交流プログラムなど関係者としっかりと打ち合わせと準備をして、おもてなしの心でお迎えしたいと考えています。研修後半の様子は、来月の広報で紹介します。

## カヌー体験



問い合わせ先 観光振興課 (☎0837(52)1532)